

本市として、初めて実施しました「小学校改築事業公募型設計プロポーザル」に際し、ご協力をいただいた設計者の皆様に衷心よりここに感謝申し上げます。

それとともに、今後も本市の学校づくり、まちづくりに向けた取組に対して、ご支援を賜りますよう本書面をもってお願いを申し上げます。

また、平日のご多忙中にもかかわらず、長時間にわたる第二次審査のヒアリングに熱心に耳を傾けていただいた市民の皆様に対しましても御礼申し上げます。

保護者・地域・児童及び教職員と共に、本選考結果をもとに決定された設計者が、今後、その意を共通にする学校施設を創りあげることができるよう、なお一層のご支援ご協力をここにお願い申し上げます。

本審査委員会は、見附市立今町小学校改築事業設計プロポーザル実施要項に定める書面による第一次審査及び第二次審査の過程を経て、選定の結果に講評を添え、ここに公表することとします。

見附市立今町小学校改築事業設計プロポーザル審査委員会  
委員長 山本 俊一

#### 第二次審査の過程

第一次選考を通過した設計者5者の方々には、市民約40名の見守る中で、1者あたり25分の時間配分のもと、前半10分を提案説明、残り15分を質疑応答として、公開ヒアリングを行いました。

限られた時間ではありましたが、各提案者からの説明は、いずれも熱意溢れるものと評価され、質問事項に対する応答からは、様々な課題解決のための検討の深さが感じられました。

審査委員会では、はじめに提案内容及びヒアリング事項をもとに、全体的な印象や選考の観点等について意見を述べ合いました。

その後、各審査委員が2案を基本として、それぞれ、今町小学校改築に係る設計業務に最も適すると思われる設計者を推薦することとしました。

その結果、(株)大宇根建築設計事務所、(有)ナスカー級建築士事務所、(有)タラオ・ヒイロ・アーキテツツの3者が過半数の票を得ることとなりました。そこで、この3者について、更に各案の特長、地域参加の計画プロセスについての姿勢や実績、また設計者に何を求めるかという観点について意見交換を重ねることとしました。

最終選考では、各部についてのアイデアが示され、時の経過に耐え得る学校施設を関係者とともに創りあげようとする提案、及びその姿勢が評価に値するという事で、審査委員会の意見が一致し、次のとおり優秀案及び次点を選定致しました。

## 第二次審査結果

優秀案 (株)大宇根建築設計事務所  
次点 (有)タラオ・ヒロ・アーキテクト

### 個別講評(参加登録順)

プロポーザルに全国から応募いただいた32の設計者の皆様には、あらかじめ提案課題として集約した「想いをかたちに」と題する報告書を熟読のうえ、それらを正面から受け止め、豊富な経験をもとにした魅力的な提案をいただきました。

本市としても、今後あるべき学校施設としての夢ある姿をイメージさせていただくことができ、大変意義深いものとなりました。

本審査委員会は、いずれも捨てがたい貴重なアイデアや工夫を提示いただいた設計者の皆様に対し、改めて敬意と謝意を表すものであります。

なお、第一次審査を通過された5者の方々の個別講評については次のとおりです。

#### 【(株)細貝建築事務所】

新潟県内の学校を数多く設計してきた豊富な経験を伺わせる堅実な提案として評価されました。

#### 【下村純建築設計事務所】

学校をひとつの「まち」と見立て、様々なコミュニケーションの場が用意され、他に例を見ない楽しいアイデアを伺うことができました。

#### 【(株)大宇根建築設計事務所】

教育の場、生活の場として、各部に工夫が伺えるとともに、長寿命や断熱性等、本市の気候風土を前提とした建物の基本的な性能の提案と実績、地域参加による設計プロセスに期待感と信頼感を得ることができました。

#### 【(有)ナスカー級建築士事務所】

シンプルな形状の建物の中に性格の異なる外部空間を配置し、透明感のある開放的な空間の提案で、随所に説得力のある説明を伺うことができました。

#### 【(有)タラオ・ヒロ・アーキテクト】

建物間にアプローチを配し、交流が生み出されるように一体感をもたせた空間構成で、教室周り等について、よく検討されていることが伝わってきました。